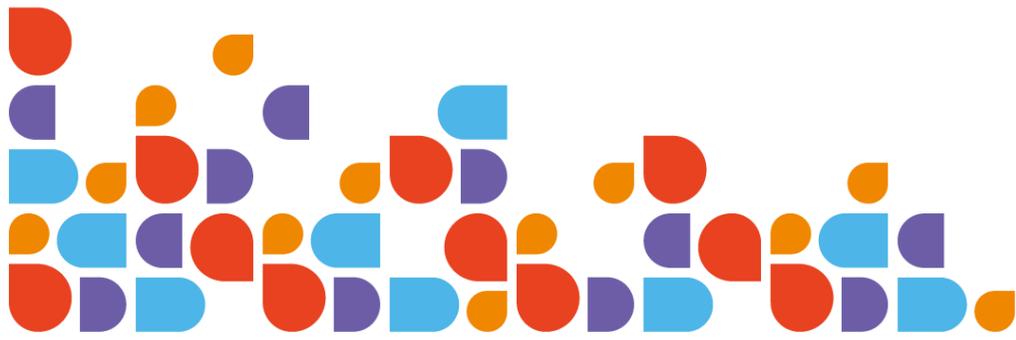


# 当社監査役会の実効性に関する 評価結果の概要について (2024年2月期)

株式会社ベルシステム24ホールディングス

2024年5月24日



当社は、監査役会として1年の監査活動内容を振り返り、監査活動の評価・分析を行い、実効性向上のための取組みを認識した上で、翌事業年度の監査計画へ反映を行う事を目的に2017年2月期より監査役会実効性評価を継続しております。

実効性評価より認識した課題を翌事業年度の監査計画に反映させることで、監査役監査品質の向上と監査役会としての実効性向上を志向し、株主の皆様方の負託に応える一助とする所存でございます。

当事業年度の実効性評価におきましても「監査役会は有効に機能しており実効性は認められる」と結論付けその内容を取締役会へ報告致しました。今後も取締役会と協働で会社の監督機能の一翼を担い、当社の健全な持続的成長を担うためコーポレート・ガバナンス体制の強化に努めて参ります。

評価対象者	監査役3名 【常勤監査役1名 社外（非常勤）監査役2名（含 独立役員1名）】 * 回答は記名式で実施
実効性評価期間	2023年3月～2024年2月
実施方法	監査役会にて策定した評価項目に基づき、各監査役が4段階評価にて自己評価を行った
設問内容 16項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、 監査役会の構成と運営の有効性</li> <li>2、 企業集団監査役監査体制の有効性</li> <li>3、 コーポレートガバナンス・コードへの対応の有効性</li> <li>4、 会計監査人の選解任の判断手続きの有効性</li> <li>5、 取締役、取締役会対応の有効性</li> <li>6、 リスクマネジメント体制監視の有効性</li> <li>7、 内部統制構築の監視・検証の有効性</li> <li>8、 リーガル・コンプライアンス体制の監視、検証の有効性</li> <li>9、 内部監査の監視及び監査役監査との連携の有効性</li> <li>10、 会計監査人監査の監視及び監査役監査との連携の有効性</li> <li>11、 三様監査連携体制の有効性</li> <li>12、 財務報告・情報開示の監視、検証の有効性</li> <li>13、 重要な法令違反、不適切な会計処理等の不祥事対応の有効性</li> <li>14、 ITガバナンス及び情報システム体制の有効性</li> <li>15、 監査役監査のドキュメンテーションの有効性</li> <li>16、 サステナビリティ課題への対応の有効性</li> </ol>
評価基準	4：適切                      3：概ね適切                      2：課題あり                      1：不十分
評価結果の扱い	各監査役の自己評価結果に基づき、協議した結果を監査役会の総意とした。 結果から監査役会の実効性を分析し次年度の課題を抽出し監査計画に反映した。

## 2024年2月期 監査役会は有効に機能しており実効性は認められる

### 監査役会の構成と 運営

- ◆ 監査役会の構成は法定最少人数であるが、常勤・非常勤の役割分担ができており効率的な組織監査が実施できた。また、専任の監査役スタッフが監査役の補助に当たり監査の効率性向上に貢献した。
- ◆ 今年度は社外監査役2名が同時に交代し会社理解の点において課題が残ったことから、監査役会の実効性を継続的に担保するための体制について検討課題として認識した。

### 企業集団監査役監査 体制の有効性

- ◆ グループ監査役連絡会を2回/年開催し子会社監査役、内部統制部門及び会計監査人も連絡会に参加し、リスク関連情報の共有が図られており有効と判断した。
- ◆ 今年度は海外子会社、海外支店への往査を実施。現地代表取締役、現地雇用社員とのインタビューを通して現地の課題を把握し、内部統制整備・運用体制について提言を実施した。

### 取締役・取締役会 対応の有効性

- ◆ 代表取締役との定期的な意見交換並びに執行役員へのインタビューを社外監査役も同席し実施した。業務執行状況並びに各役員の見解を理解する上で有効に機能した。
- ◆ 今年度は、社外取締役との連携強化を目的に社外取締役に監査役会への陪席を提案。監査役会より入手した情報により会社理解の一助になったとの声を聴取した。

### 会計監査人の選任・ 再任・不再任・解任 の判断手続

- ◆監査法人としての品質管理体制、職務執行体制、監査チームの構成、監査報酬の見通し、監査の効率性改善施策等について説明を受け、監査法人の組織が業務を行う上で適切に構築、運営されていることを確認した。
- ◆監査の自動化、効率化への取組について協議したことは、監査法人の取組む方向性について理解を深める上で有効な機会となった。

### 内部統制構築及び 内部監査の監視及び 監査役監査との連携 の有効性

- ◆取締役会議案の相当性について常勤監査役により相当性判断が適切に起草され、監査役会を通じて同意承認を得るプロセスが定着している。
- ◆内部監査とは定期的な会合により情報連携・意見交換を実施。内部監査のデュアルレポートラインによる取締役会への報告を提言し実行された。

### サステナビリティ 課題への対応の 有効性

- ◆サステナビリティ推進委員会の下、取組状況、開示状況が取締役会へ報告され審議がなされていること、定量目標の設定、サステナビリティ項目の役員報酬制度への反映など整備が進んだことを確認した。

## 監査役会の構成に対する有効性検証

- ◆ 監査役会の継続的な実効性担保の為の体制の検証

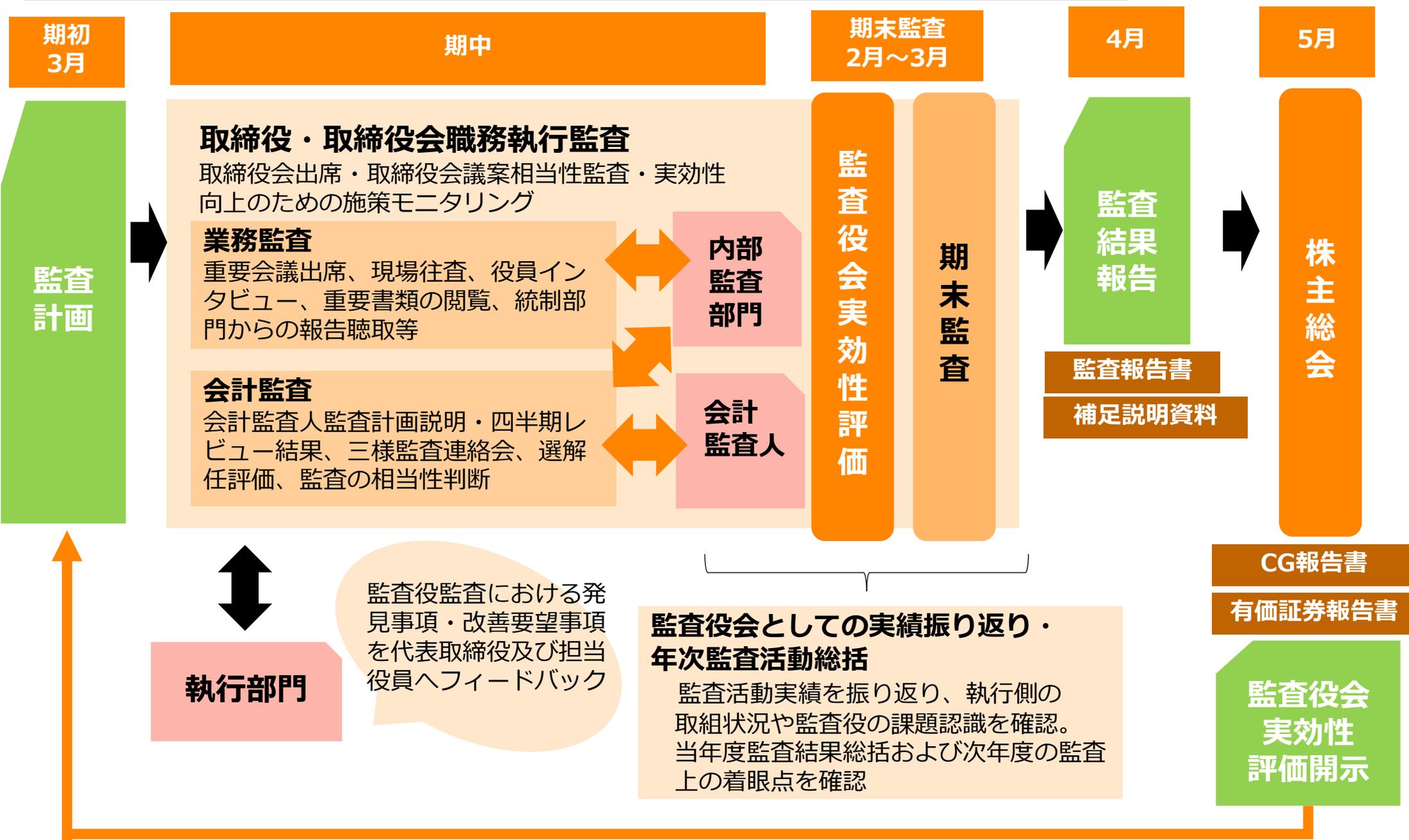
## グループガバナンス体制の有効性検証のための監査体制

- ◆ 海外子会社に対する内部統制整備・運用体制の監視・検証

## サステナビリティ経営体制の有効性検証のための監査体制

- 持続的な企業価値向上のための戦略の合理性検証

# 【ご参考】 監査役会 年間活動プロセス概要



© BELLSYSTEM24, Inc. **実効性向上のための重点取組み事項を次年度監査計画へ反映**